

宇宙に近づく  
フライデーナイト

# 京大天文教室 in 丸の内 2018

「京大天文教室 in 丸の内」は、京都大学の天文学者がファラデーの例にならい、金曜の夜に最先端の天文学の研究成果を市民向けに分かりやすく講演する全10回シリーズです。

第6回 **2018年10月19日(金) 18:30-20:00**

**長田 哲也 教授 「銀河とブラックホール」**

夜空の星々は、私たちの太陽と同じように自ら光を発する恒星です。数千億個の恒星が、天の川銀河と呼ばれる集団を形作っています。私たちは森（天の川銀河）の中にいるために、個々の木（恒星）は見えても、森が見えていなかったのですが、その全体像も赤外線観測などで徐々にわかってきました。そして、中心部にある、太陽の400万倍の質量を持つブラックホールについても解明しようとしています。最新の観測も交え、お話ししましょう。

**会場 「京都アカデミアフォーラム」 in 丸の内 会議室**  
東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

## 講師プロフィール

1957年生まれ。  
1985年京都大学大学院理学研究科博士課程修了、同年ハワイ大学天文学研究所ポスドク、  
1988年京都大学理学部助手、  
1995年名古屋大学理学部助教を経て、2004年より京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教授。  
天の川銀河中心部や、星間空間に興味を持っている。東アジア最大口径の光学赤外線望遠鏡である京大岡山3.8mせいめい望遠鏡を製作・整備する責任者を務めている。

## 【概要】

- 参加費 2,000円（高校生以下500円）  
※お支払い方法は申し込みフォーム、自動返信メールをご確認ください。
- 定員 100名（中学生以上が対象）
- 主催 京都大学理学研究科宇宙物理学教室・附属天文台、京大オリジナル株式会社
- 申込 <http://www.kyodai-original.co.jp/?p=380>

